2023年度 吉田学園医療歯科専門学校 歯科衛生学科 臨床心理学 藤澤 雅子 担当教員 授業科目 (科目ID) 歯科衛生士として、患者カウンセリングに従事しており、 当該科目の教育を行う。 有图 21d201 無 (実務経験) 2単位 対象年次·学期 2年・前期 必修 単位数 必修 選択区分 講義 授業回数(1回90分) 時間数 授業形態 15 30時間 授業目的 心理学の基礎知識を理解した上で、臨床での患者心理を考える。 到達目標 心理学の基本的な知識や実験手法、先行知見を学ぶことにより、患者やスタッフの立場を客観的にとらえる考え方を論じることができる。 テキスト・ ・わたしそしてわれわれ(北大路書房) 参考図書等 評価基準 評価方法 評価割合(%) 試験 60% レポート 20% 評価方法: 評価基準 ①定期試験60% % ②レポート20% ③提出物20% 小テスト 提出物 20% その他 % ①プリントや板書を中心とした講義形式の授業と、実際の体験やビデオによる学習なども取り入れる。 履修上の 留意事項 ②提出物は期限厳守。 ③その他、授業の進行に差し障りのある行為に対する諸注意を守る。 回数 履修主題 履修内容 脳と心 脳の成り立ちとその働き 1 知覚のプロセス 知覚の体制化・恒常性 2 動機づけと感情 3 動機づけと感情 行動の獲得と変容 古典条件づけ・オペラント条件づけ 4 5 成長と変化 遺伝と環境 パーソナリティ 6 類型論・特性論 心の構造 心的構造論 7 履修主題• 履修内容 対人認知 パーソナリティの認知 8 親しみのコミュニケーション 会話の促進、男女のコミュニケーション 9 対人関係の発展 対人関係の発展プロセス・社会的交換理論 10 集団と人間 集団疑集性、集団規範、集団成員圧 11 住みやすい社会を築く 援助のメカニズム、社会的迷惑行為 12 協調できる社会をめざす 暴力犯罪の発生メカニズム、社会的スキルの重要性 13 要請技法のアラカルト

日本人らしさ

14

15

広告と大衆

文化と心

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		生命と健康	AN	担当教員			宮野 晃一郎	
(科目ID)		21d202		(実務経験)	有 🏻	#		
対象年次·学期	2年•前	ī期		必修·選択区分	必修		単位数	2単位
授業形態	講義			授業回数(1回90分)		15	5 時間数	30時間
授業目的	生命倫	理に関する幅広い知言	載や概念などについ	て理解する。				
到達目標	生老病	死の意味、生命倫理の	の基本概念について	「理解し、生命の尊さを自らの	生き方につなけ	げて考え、論「	じることができる。	
テキスト・ 参考図書等]書・医療の倫理: 星野 () ・現代医療の道徳的		叢書現代の宗教9現代医学と	宗教:日野原重	明(岩波新書	書)・看護のためのき	生命倫理: 小林亜津子(ナカニシ
		評価方法	評価割合(%)			評価基	华	
	試験	試験 80%						
評価方法・	レポー	٢	10%					
評価基準	小テス	٢	%	①定期試験80% ②レポート10% ③提出物10%				
	提出物	1	10%					
	その他	l.	%					
履修上の 留意事項	深めて	いくスタイルをとる。②	っては、学生の発言の多寡が	授業の内容を	左右するので	で、学生の積極的な	スカッションにより内容の理解を 発言による授業参加を期待す るので、特段の注意をすること。	
	回数		履修主題				履修内容	
	1	考えることに慣れる(1))自己の視点・他者	がの視点	自分が「ふつうと他者の観点の			と思っているとは限らない。自分
		考えることに慣れる(1)		かえ の視点	と他者の観点の	の違いを体験) ● ○ ○ ら、どのように行動	思っているとは限らない。自分
	2)モラル・ジレンマ	fの視点	と他者の観点の問題に直面した で自分なりに答	の違いを体験たとき貴方ない。 答えを出して、 と、健康を気	・	
	3	考えることに慣れる(2)) モラル・ジレンマ	すの視点	と他者の観点は 問題に直面した て自分なりに答 病気を治すこと 現代医学では	の違いを体験 たとき貴方な 答えを出して こ、健康を気 きなのだろう 、受精卵の科	ộする。 ら、どのように行動 見る。 づかうことは自然なか。	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。 自分たちの
	3 4	考えることに慣れる(2)) モラル・ジレンマ))	fの視点	と他者の観点の 問題に直面した て自分なりに名 病気を治すこと 康を追求すべ、 現代医学では 現代医学では 現代医学では	の違いを体 たとき貴方な きえを出して 、健康を気う 、受精の見る 、子どもを削る 、遺伝病のリ	会する。 ら、どのように行動で見る。 づかうことは自然なか。 といるで病気の有無をことは許されるのだけなった。	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。 自分たちの
	2 3 4 5	考えることに慣れる(2) 健康について考える() 健康について考える(2)) モラル・ジレンマ 1) 2)	fの視点	と他者の観点に 問題に直のした 病気を追すべては 現代医学までは 現代医学法でが。 現代治療が、 レトゲノムの解	の違いを体動にときない。 たとき出して、 にきないできる。 、できないできる。 、できないできる。 、できなのでは、 、できるのでは、 、できないでは、 によって、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会する。 ら、どのように行動で見る。 づかうことは自然なか。 段階で病気の有無をことは許されるのだ フンとは許されるのだ フンクを診断することではない。治療法が	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちの ろうか。 はできる。しかし、すべての病気 なくても知ることは「よい」ことな きく変わる可能性がある。遺伝子
履修主題・	2 3 4 5	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(4) 健康について考える(6) 健康について考える(6)) モラル・ジレンマ 1) 2) 3)	行の視点	と他者の観点には 自動に すっぱい 自動に すっぱい 音楽 学ま でがら を でがら といたがした 日本は 中絶天	の違いを体 たとき当りたい。 を含えたを出して気 うなのだる。 、受精をあうい。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだる。 できなのだ。 できなのできなのできなのできな。 できなのできなのできなのできな。 できなのできなのできなのできな。 できなのできなのできなのできなのできな。 できなのできなのできなのできなのできなのできな。 できなのできなのできなのできなのできなのできなのできなのできなのできなのできなの	乗する。 ら、どのように行動で 見る。 づかうことは自然ないか。 段階で病気の有無をことは許されるのだ マクを診断することではない。治療法が 人間の在り方は大きないようなものなった。	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちの ろうか。 はできる。しかし、すべての病気 なくても知ることは「よい」ことな きく変わる可能性がある。遺伝子 のが。
履修主題・ 履修内容	2 3 4 5 6	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(4) 健康について考える(4) 健康について考える(4)) モラル・ジレンマ 1) 2) 3) 4)	fの視点	と他者の観点にない。 はいます でまず はにない まず でまではない まず でまではない はにてはない まず でまではない という はいかい いい の の という いい の の という いい の の という いい い	の違いきない 貴出 しまる いきない 貴出 しまる 健康をうい けいまる いきない 大きな できる できる できる できる できる できる できる できる かい	乗する。 ら、どのように行動で見る。 づかうことは自然ないか。 とは言いない。有無をことは許されるのだにない。治療法が 人人間のようなものようなものない。 はどのようなものない。 はどし、人性・絶についてはない。とはない。 はどいないないはない。 はどいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちの ろうか。 はできる。しかし、すべての病気 なくても知ることは「よい」ことな きく変わる可能性がある。遺伝子 のが。
	2 3 4 5 6 7 8	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(6) 健康について考える(6) 健康について考える(6) 生命について考える(6)) モラル・ジレンマ 1) 2) 3) 4) 1)	fの視点	と他者の の値が の値が 直なが も本求 学まではでいる。 でまではでいる。 にないではこれではでいる。 はないではこれではでいる。 はないではこれではでいる。 はないではこれではでいる。 いっている。 にないる。 にないではこれではでいる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にない。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない	の違いきない。 きょう はいき かんしょう はいき かいま はいま きょう はいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	会する。 ら、どのように行動で見る。 うかうことは自然ないか。 ととは許されるのをにといない。治療法れるのだけない。治療法が、人間の在り方は大き、どのようなものない。 は、どのようなものない。 はど人工妊娠中絶について、とのは、とには、とのは、とのは、とに、とのは、とには、して、とのは、とに、といくない。 は、どのようなものない。 は、どのようなものは、といくは、といくない。 は、どのようなものない。 は、どのようなものは、といくは、といくは、といくは、といくは、といくは、といくは、といくは、といく	するか。モラル・ジレンマに対しことである。しかし、どこまでも健調べることができる。自分たちのろうか。はできる。しかし、すべての病気なくても知ることは「よい」ことなきく変わる可能性がある。遺伝子のか。 の規制が緩い。生命が重さを失て考える。 レ子高齢化が進んでいる。しかこ許されるのだろうか。 のように死ぬか」を自ら考えなけ
	2 3 4 5 6 7 8	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(5) 健康について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6)) モラル・ジレンマ 1) 2) 3) 4) 1) 2)	作の視点	と他者 ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ でまでが。 ・ でまでが。 ・ でまでが。 ・ でまでが。 ・ でまでが。 ・ でまでが。 ・ でまでが。 ・ でまでが。 ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はこ ・ はっの ・ でまでが。 ・ はっの ・ はっ。 ・ は。 ・ は 。 ・ は 。 ・ も 。 。 ・ も 。 ・ も 。 ・ も 。 ・ も 。 ・ も 。 ・ も 。 。 ・ も 。 。 ・ も	の違ときと、健康の 精も 伝え ときない 大きな できる	会する。 ら、どのように行動で見る。 ら、どのように行動で見る。 づかうことは自然ないか。 段階で病気の有無をことがはない。 にはない。 はいない。 はいないがあれるのだい。 はいまりなものようなはがない。 はいまでは、といるにはど娠中絶についない。 はだ理出とははにいませんには、といまや私たちは「どきナルケアについて考えない。 現状では「死の自己決定」の意	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちのろうか。 はできる。しかし、すべての病気なくても知ることは「よい」ことなき〈変わる可能性がある。遺伝子のか。 他の規制が緩い。生命が重さを失て考える。 レ子高齢化が進んでいる。しかこ許されるのだろうか。 のように死ぬか」を自ら考えなけまえる。 こ決定」(安楽死・尊厳死)から目し義と問題点を考える。
	2 3 4 5 6 7 8 9	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(6) 健康について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6)) モラル・ジレンマ 1) 2) 3) 4) 1) 2) 3)	行の視点	と 問て 病康 現望現にの 上で して でまでがう」 がします。 でまでがらかり にない でまでがっかり にない でまではでがっかり にない でまではでがっかり にない にない でまではでがっかり にない にない にない にない にない にない にない にない	かたとう いき できょう にん はんしん がらい また いま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま	乗する。 ら、どのように行動で見る。 う、どのように行動で見る。 つかうことは自然ないか。 とは言葉ない。有無をことではない。治療法が 人どのようなものが はだが、るほど妖中絶についるはどが、はないない。はどが、はないないがではがないがではが、ないないがではないが、はないが、ないないが、ないないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちの ろうか。 はできる。しかし、すべての病気 なくても知ることは「よい」ことな きく変わる可能性がある。遺伝子 のか。 の規制が緩い。生命が重さを失 て考える。 ひ子高齢化が進んでいる。しか こ許されるのだろうか。 のように死ぬか」を自ら考えなけ える。 こ決定」(安楽死・尊厳死)から目
	2 3 4 5 6 7 8 9 10	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(4) 健康について考える(4) 生命について考える(4) 生命について考える(4) 生命について考える(4) 生命について考える(4) 生命について考える(4)) モラル・ジレンマ (1) (2) (3) (4) (1) (2) (3) (4) (5)	行の視点	と 問て 病康 現望 現にの とで 関い でまです。ではこし存。 のにない でまです。ではこし存。 のにない でまです。ではでいる。 のにない でまです。ではでいる。 のにない でまです。ではでいる。 のにない でまでが。 のにない ではです。ではでいる。 のにない ではです。ではでいる。 のにない ではです。ではでいる。 のにない にない。 にないではです。ではでいる。 のにないではではでいる。 のにないではでいる。 にないではでいる。 にないではでいる。 にないではできない。 にないではでいる。 にないではできない。 にないではできない。 にないではできない。 にないではできない。 にないできないできない。 にないできない。 にないできないできない。 にないできないできない。 にないできないできない。 にないできないできない。 にないできないできない。 にないできないできない。 にないできないできないできない。 にないできないできないできない。 にないできないできないできない。 にないできないできないできないできないできない。 にないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	の たい さい きい きい でい でい でい でい でい でい でい でい でい で	会する。 ら、どのように行動で見る。 ら、どのように行動で見る。 づかうことは自然ないか。 とので病気のの有無をではない。 ははない。 はなないの在方なものようにとが、 はどのよりなものは、 はだ理出を私たない。 はど女中の目には、対して、 はではないでは「どのではない。 はでは、いて、 はでは、いて、 はでは、いて、 ののでは、いて、 ののでは、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちのろうか。 はできる。しかし、すべての病気なくても知ることは「よい」ことな きく変わる可能性がある。遺伝子のか。 の規制が緩い。生命が重さを失て考える。 レ子高齢化が進んでいる。しかこ許されるのだろうか。 のように死ぬか」を自ら考えなけえる。 こ決定」(安楽死・尊厳死)から目 義と問題点を考える。 すか。暗闇と沈黙のなかで生き
	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(4) 健康について考える(4) 生命について考える(5) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6)) モラル・ジレンマ 1) 2) 3) 4) 1) 2) 3) 4) 5) える(1)	行の視点	と 問て 病康 現望 現にの にです。でまでが。 のになった。 にのでいますが、 のになった。 でまでが、 のになった。 でまでが、 のになった。 でまでが、 のになった。 でまでが、 のになった。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	のたき、、き、、子、在 析す 国生、 の音 達つ 限でして 成器 術が 大て、気うの 見る いっては れん がる ていまな 者の むむ はれん がる ていまな 者の むむ はれん がる ていまな 者の むむいったのかがれる という かいったかん がれる いっという かいっという かいっという かいっという かいっという かいっという かいっという かいっという かいっという かいっという はれん がる ていまいる にんかん がれる いっという かいかい かいがれる いっという かいがれる いっという かいがれる しょう はんしょう はんしょく はんしん はんしん はんしんしょく はんしん はんしん はんしん はんしんしん はんしん はんしん はんしん は	乗する。 ら、どのように行動で見る。 ら、どのように行動で見る。 つかうことは自然ない。 段階で病気の有無をだけない。 は間の在うない。 はば妊娠中のようなものようながらない。 はば妊娠中のようなものにはがない。 はば妊娠中にははいるとははいない。 はば妊娠中にいないない。 はば妊娠中にいないない。 はば妊娠のはははいずればいない。 はば妊娠のは、はば妊娠の中に、がはいまやアにしてある。 はながでは、はにできない。 はないのに、があるない。 まないのに、が考える。 といのに、だ考える。	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちの ろうか。 はできる。しかし、すべての病気 なくても知ることは「よい」ことな きく変わる可能性がある。遺伝子のか。 の規制が緩い。生命が重さを失 て考える。 レア高齢化が進んでいる。しか こ許されるのだろうか。 のように死ぬか」を自ら考えなけ える。 こ決定」(安楽死・尊厳死)から目 義と問題点を考える。 こ決定」(安楽死・尊厳死)から目 表と問題に変異ないで生き間として生きることは可能だろう ードの普及率は極端に低い。日
	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	考えることに慣れる(2) 健康について考える(4) 健康について考える(5) 健康について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 生命について考える(6) 移植医療について考える(6) 移植医療について考える(6)) モラル・ジレンマ 1) 2) 3) 4) 1) 2) 3) 4) 5) える(1) える(2)	行の視点	と 問て 病康 現望 現にの 上で でまでが、 のにな がまでまでが、 のにな がまでまでが、 のにな がまでまでが、 のにな がまでまでが、 のにの にな がまでまでが、 のにの にな がまでまでが、 のにの にな がまでまでが、 のにの にな がはでまでが、 のにの にな がはな をは のにの にな でまでが、 のにの にな がはな をは のにの にな でまでが、 のにの にな がに がに がに がに がに がに がに がに がに がに	のたち、、き、、子、在 析す 国生、 の道 達っ 限で なな 成器 術買いた また 健なの 精を 病わった と改 齢具 にた 界き しょ する植 遊い 会を がいいる 者の むい 会の かいったの がいれる しょく がる ていこく あんじん がいい るいん かいっという しょく かいいん はい 会の かいっという はい 会の かいっという はい 会の かいっという はい 会の かいっという はい という はい という はい という はい という はいいる	会する。 ら、どのように行動で見る。 ら、どのように行動で見る。 づかっとは自然ないか。 いったは自然ないからないで病許を診断治力をはない。 はははいからないが、 はなりないが、 はなりないが、 はないが、 はないがいが、 はないがいが、 はないがいが、 はないがいがいがいが、 はないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	するか。モラル・ジレンマに対し ことである。しかし、どこまでも健 調べることができる。自分たちの ろうか。 はできる。しかし、すべての病気 なくても知ることは「よい」ことな きく変わる可能性がある。遺伝子のか。 の規制が緩い。生命が重さを失 て考える。 レア高齢化が進んでいる。しか こ許されるのだろうか。 のように死ぬか」を自ら考えなけ える。 こ決定」(安楽死・尊厳死)から目 義と問題点を考える。 こ決定」(安楽死・尊厳死)から目 表と問題に変異ないで生き間として生きることは可能だろう ードの普及率は極端に低い。日

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		歯科衛生統計(演	習含む)	担当教員				藤澤 雅子				
(科目ID)		21d203		(実務経験)	有 🗹	無			歯科統計学の手法を使い学会発 目の教育を行う。別紙1参照			
対象年次・学期	2年・後			必修·選択区分	必修			単位数	1単位			
授業形態	講義・	演習		授業回数(1回90分)	15 時間数 30時間							
授業目的	歯科係	保健に関する統計資料	を読み解き、歯科衛	生士に必要な知識を習得する								
到達目標	各種社	t会調査結果の見方お	よび口腔健康指標の	の基本的統計処理方法を理解	翼し、活用する こ	ことがで	きる。					
テキスト・ 参考図書等	・最新	歯科衛生士教本「保健	情報統計学」(医歯	薬出版)・参考資料、プリント	∙の配布 ・電卓	草(学生;	が準備	、携帯の電卓機能に	は不可)			
		評価方法	評価割合(%)			評	価基準	Ē				
	試験											
評価方法・	レポー	ŀ	25%									
評価基準	小テス		%	①定期試験50% ②PC演習レポート25% ③事前学習プリント25%								
	提出物	7	%									
	その他	1	25%	%								
履修上の 留意事項	授業は 必ず自	 受業は、教本に沿って、講義・演習を取り入れる。表・グラフの書き方・i とず自分で考えて提出作成すること(計算すること)。特に、PC操作実習			について実務的 ましないこと。	的なトレ	ーニン	グを行うと共に、数・	値処理になれるようにする。			
	回数		履修主題					履修内容				
	1	1章 保健情報と保健	統計 (藤澤)		保健情報、保健統計、保健情報の種類、国家統計調査							
	2	2章 保健情報と疫学	! (藤澤)		疫学、健康障	害の発	生要因	、疫学の方法論				
	3	3章 歯科疾患の指数	女1~3 (藤澤)		数量化と指数、齲蝕の指数(DMF、RIDなど)							
	4	3章 歯科疾患の指数	女1~3 (藤澤)		歯周疾患の指数(PMA、GI、PIの演習)							
	5	3章 歯科疾患の指数	女4 (藤澤)		口腔清掃状態	長の指数	ţ(ΟΗΙ、	Q&HØPI、PHP、P	CRなど)			
	6	3章 歯科疾患の指数	文5 (藤澤)		不正咬合と歯	列不正	の指数	て、フッ素症指数、歯	科保健指標			
履修主題•	7	4章 保健情報の分析	f手順 (藤澤)		保健情報の収	又集、調	査など					
履修内容	8	4章 保健情報の分析	f手順 (藤澤)		保健情報の収	集、質	問紙作	成手順など				
	9	5章 保健統計の方法	(1~2 (藤澤)		データの特性	(データ	の尺度	、分布)、記述統計(代表値、散布値、相関)			
	10	5章 保健統計の方法	53 (藤澤)		推定と信頼区	.間						
	11	5章 保健統計の方法	(藤澤)		t検定(1標本、	2標本、	. 3標本)など				
	12	6章 保健情報の分析			プレゼンテー	ション:テ	データの)表現、図表の種類				
	13	6章 保健情報の分析	─── ─── f演習2 (佐藤)		プレゼンテー	ション:テ	データの)表現、図表の作り				
	14	6章 保健情報の分析			t検定、χ2検定などのやり方							
	15	6章 保健情報の分析			保健情報の多変量解析(重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析)							

2023年及	口口子园 区 深 目	封件导门于仪	图作得	1 -	14		万! 森氏 !
授業科目	歯科衛生統計(演習含む)	担当教員		佐藤	昌代	÷	
(科目ID)	21d203	(実務経験)	有[無	V	PCを使っての情報処理演習に従事し、当該科目の教育 を行う。
対象年次·学期	2年・後期	担当教員					
授業形態	講義・演習	(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有[無		
		担当教員					
		(実務経験)	有【		無		

2023年度 歯科衛生学科

授業科目		生命・医療倫理	理学	担当教員					松	本 崇嗣	
(科目ID)		21d204		(実務経験)	有	V	無			士として、国 当該科目の教	E療倫理に基づいて業務に従事し 教育を行う。
対象年次·学期	2年•前	期		必修·選択区分	必修				単	位数	1単位
授業形態	講義			授業回数(1回90分)				8	時	間数	16時間
授業目的		5生士に求められる心 いて学ぶ。	構えやインフォーム	・コンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術やその基礎と							
到達目標	チームること。		命理的判断に基づい	た行動がとれること。インファ	ームド	・コンセ	ントヤ	生活の)質(QOL))についてヨ	理解し、それを説明・実践でき
テキスト・ 参考図書等	•最新	歯科衛生士教本「歯科	-医療倫理」(医歯薬	出版)							
		評価方法	評価割合(%)					評価基	準		
	試験		70%								
評価方法・	レポー	+	20%								
評価基準	小テス	۱,	%								
	提出物	7	10%	9%							
	その他	1	10%								
履修上の 留意事項	①教本 事例を と。	を中心に講義を進め 取り上げ、「ケアの倫野	は新しい医の倫理の原則を誓]教育を実施します。③さまざ	≥びます まな考え	。②実 えをレホ	際に起	己こり得 こしてま	る倫理的 とめる。 ④	問題への	対象の仕方について具体的な た期日にレポートを提出するこ	
田心于久		·一プディスカッションで 	では、自分の考えを	まとめて話せること。⑥人のネ	えを聞	けるこ	<u>L</u> .				
	回数		履修主題	履修内容							
	1	新しい医の倫理(松本	k)		医師中	心の医	療か	ら患者に	中心の医療	療へ	
	2	バイオエシックス(生命	命倫理学)(佐藤)		バイオ	エシック	スと	は何か			
	3	バイオエシックスに関	わる問題(佐藤)		生命の	始まり	と終れ	りに関	する問題		
	4	インフォームド・コンセ	·ント(松本)		インファ	ナームド	・コン	セントの	D実際		
	5	研究と医療倫理(松本	k)		研究と	倫理的	な配り				
	6	歯科医療倫理に必要	な行動 (松本)		患者と	医療従	事者	の行動			
履修主題•	7	行動科学(松本)			医療従	事者の	行動	特性			
履修内容	8	チームアプローチとは	t (松本)		チーム	アプロ-	ーチの)成功σ	パイント		
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										

授業科目	生命·医療倫理学	担当教員	佐藤	真紀子	
(科目ID)	21d204	(実務経験)	有【】	無	医師として、医療倫理に基づいて業務に従事 しており、当該科目の教育を行う。
対象年次•学期	2年·前期	担当教員			
授業形態	講義	(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		歯内療法・歯周	療法学	担当教員				川浪 雅光						
(科目ID)		21d205		(実務経験)	有	Z #		歯科医師として、歯に 目の教育を行う。別	内・歯周治療に従事しており、当該科 紙1参照					
対象年次・学期	2年•前	前期		必修·選択区分	必修			単位数	2単位					
授業形態	講義			授業回数(1回90分)			20	時間数	40時間					
授業目的	歯内療	療法・歯周療法の基本	知識を理解する。											
到達目標		実患を述べることができる 削を述べることができる		ける歯科衛生士の役割を述べることができる。歯周疾患を述べることができる。歯周療法における歯科衛生士										
テキスト・ 参考図書等	•最新	歯科衛生士教本 「歯の 歯科衛生士教本 「歯原	D硬組織・歯髄疾患 周病学∫(医歯薬出版	保存修復・歯内療法」(医歯 ・必要に応じてブリン										
		評価方法	評価割合(%)				評価基	準						
	試験		80%											
評価方法・	レポー	-	%											
評価基準	小テスト 96 ①定期試験80% ②提出物(毎回の重要の要点をまとめたレポート)20%													
	提出物	d	20%											
	その他	<u>b</u>	%											
履修上の 留意事項	よって	、学生の理解を判断し	ながら進める。 ②	バ、ビデオなどを使って講師)授業中は集中して、その場 で質問すると容易に理解がで	で理解すん	業を基本 るようにす	に、学生に ⁻ ること。	課題を与え、口頭で ③理解できない時/	が発表させたり、レポートの提出に ま、積極的に質問すること。					
	回数		履修主題					履修内容						
	1	歯周疾患1 (松本)			歯周組織の構造と機能									
	2	歯内療法1(川浪)			歯内療法学の概要									
	3	歯周疾患2(松本)			歯周疾患	息の病態、	原因、疫	<u> </u>						
	4	歯内療法2(川浪)			歯の痛み	4								
	5	歯周疾患3(松本)			歯周治療	象の進めた	方							
	6	歯内療法3(川浪)			歯髄疾息	B								
履修主題•	7	歯周疾患4(松本)			歯周疾患	態の診査・	診断							
履修内容	8	歯内療法4(川浪)			根尖性的	歯周組織 郷	 夫患							
	9	歯周疾患5(松本)			基本治療	寮(モチベ-	ーション、患	者指導)						
	10	歯内療法5(川浪)			歯髄保存	字療法								
	11	歯周疾患6(松本)			基本治療	寮(口腔清	掃指導)							
	12	歯内療法6(川浪)			歯髄除る	5療法と	器械・器具							
	13	歯周疾患7(松本)			基本治療	原(スケー	 Jング・ルー	-トプレーニング)						
	14	歯内療法7(川浪)			感染根管	宣治療 								
	15	歯周疾患8(松本)			外科的的									

	回数	履修主題	履修内容	
	16	歯内療法8 (川浪)	根管充填	
履修主題、	17	歯周疾患9(松本)	咬合性外傷に対する治療法	
履修内容	18	歯内療法9 (川浪)	外科的歯内療法	
	19	歯周疾患10 (松本)	サポーティブセラピー	
	20	歯内療法10 (川浪)	歯内療法における偶発症	

吉田学園医療歯科専門学校 歯科衛生学科

別紙1

2023年及	口口于园区源	(因件导门于仪	图件用工	F14	が
授業科目	歯内療法・歯周療法学	担当教員	松才	、 崇嗣	
(科目ID)	21d205	(実務経験)	有☑	無□	歯科衛生士として、歯科保健指導業務を実施して おり当該科目の教育を行う。
対象年次•学期	2年·前期	担当教員			
授業形態	講義	(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		矯正歯科	ž	担当教員				丸岡 春日				
(科目ID)		21d206		(実務経験)	有☑	無		歯科医師として、矯正 教育を行う。 別紙1:	E治療に従事しており、当該科目の 参照			
対象年次·学期	2年•前	立		必修·選択区分	必修			単位数	2単位			
授業形態	講義・	演習		授業回数(1回90分)			15	時間数	30時間			
授業目的	矯正学	4の基本的な知識を身	につけ、日常的に誰	科で受ける矯正学的疑問を	自分で調べる	る力を養っ	う 。					
到達目標	国家訂	ぱ験に必要な基礎知識	を身につけること。	将来的に歯科医療機関で矯正	正治療のスタ	ッフにな	り得る知	識を持つこと。				
テキスト・ 参考図書等	・最新	歯科衛生士教本「咀哨	開障害・咬合異常2	歯科矯正」(医歯薬出版) ・	参考資料	・プリント	〜の配付					
		評価方法	評価割合(%)				評価基	準				
	試験 80%											
評価方法・	レポー	· k	10%									
評価基準	小テス		%	①定期試験80% ②レポート10% ③出席点10%								
	提出物	0	% 多位海黑10%									
	その他 10%											
履修上の 留意事項		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
	回数		履修主題					履修内容				
	1	I -1章 基礎知識、 I -2章 基礎知識、		要(丸岡)	矯正歯科治療の目的・需要・必要性 頭蓋・顎顔面・歯・歯列の発育、身体の成長・発育							
	2	I-3章 基礎知識、	正常咬合・不正咬合	合 (丸岡)	正常咬合、不正咬合の分類・原因・予防							
	3	I -4章 矯正歯科診	診断 (丸岡)		矯正治療における診断と必要な検査、症例分析・非抜歯治療と抜歯治療							
	4	I -5章 矯正歯科治	ネ療と"力"−矯正力	・保定 (丸岡)	歯の移動と	固定、組	織反応、	歯の移動様式、矯正	多動様式、矯正力と顎整形力、保定			
	5	I-6章 矯正装置	(丸岡)		可撤式矯正 装置、口腔				装置、上顎拡大装置·顎外固定			
	6	Ⅲ−1章 診断に関れ	のる業務 (丸岡)		検査の補助	、インファ	ナームドニ	コンセント				
履修主題•	7	Ⅲ-2章 診療時の第	終1 (丸岡)		矯正用器具	・材料の	準備と取	り扱い、装置時の初	浦助と指導			
履修内容	8	Ⅲ-2章 診療時の業	終2 (丸岡)		機能的矯正	装置装着	昏時の補	助と指導、顎外固定	2装置装着時の補助と指導			
	9	Ⅲ一1章 矯正歯科診	診断にかかわる業務	(萱野)	矯正歯科に	おける歯	科衛生	上の役割				
	10	Ⅲ-2章 矯正歯科診	疹痔時の業務1 (萱	野)	各種プライヤ	マー使用	方法・把	持方法				
	11	Ⅲ-2章 矯正歯科診	疹痔時の業務2 (萱	野)	各種ワイヤ-	一の取り	扱い、ブ	ラケット装着の流れ	とアシスタントワーク			
	12	Ⅲ-2章 矯正歯科診	診療時の業務3 (萱	野)	バンドセット	流れ						
	13	Ⅲ-2章 矯正歯科診	※療時の業務4 (萱	野)	ブラケットセ	ット流れ						
	14	Ⅲ-2章 矯正歯科診	診療時の業務5 (萱	野)	結紮実習							
	15	Ⅲ-3章 矯正歯科患	者と口腔保健管理	(萱野)	矯正装置周	囲のTBI	について					

2022 4);	5 口口子园区派	西州寺门于汉	图件用土-	7 14	为 1 和 1
授業科目	矯正歯科学	担当教員			萱野 美帆
(科目ID)	22d206	(実務経験)	有☑	無	歯科衛生士、矯正治療に従事しており、当該科目の教育 を行う。
対象年次・ 学期	2年·前期	担当教員			
授業形態	講義・演習	(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# 	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	# \square	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		歯科放射線学 22d207		担当教員					箕輪 和宏		
(科目ID)		22d207		(実務経験)	有		無		歯科医師として、放射科目の教育を行う。	対線撮影業務に従事しており、当該 別紙1参照	
対象年次•学期	2年•前	立		必修·選択区分	必修				単位数	2単位	
授業形態	講義			授業回数(1回90分)				15	時間数	30時間	
授業目的	放射線	泉に対する正しい知識な	を習得する。						•		
到達目標	画像記	診断の意義と放射線の	取り扱いの基本を述	<u>は</u> べることができる。							
テキスト・参考図書等	・最新	歯科衛生士教本「歯科	放射線」(医歯薬出	版)							
		評価方法	評価割合(%)					評価基	準		
	試験		90%								
評価方法・	レポート 10%										
評価基準	小テス		①定期試験90% ②レポート10%								
	提出物	D .	%								
	その他	1	%								
履修上の 留意事項	①必要	 ①必要なことは黒板に板書し、理解を深めるためパソコンでプレゼンテーションを名				ゔゔ。(2)質問	を歓迎する	る。 ③一方的な授	業は避けたい。	
	回数							履修内容			
	1	1章 歯科医療と放射	線(箕輪)	放射線とその性質							
	2	2章 エックス線画像の	の形成 (岩井)		エック	クス線と	画像σ)形成、エ	ックス線フィルムと増	感紙、デジタル画像系	
	3	3章 歯科におけるエ	ックス線検査 (岩井	‡)	口内	法エック	7ス線技	最影、パノ	ラマエックス線など		
	4	4章 口内法エックス	線撮影の実際と歯科	衛生士の役割1 (岩井)	全顎	摄影(10)枚法)(の部位別打	撮影の要点(実習1−(①)	
	5	4章 口内法エックス	線撮影の実際と歯科	衛生士の役割2 (岩井)	口内	法エック	7ス線3	写真のみた	いた(実習1-②)		
	6	4章 ロ内法エックス	線撮影の実際と歯科	衛生士の役割3 (岩井)	写真	処理と	画像保	管の実際	(実習1-③)		
履修主題•	7	4章 ロ内法エックス	線撮影の実際と歯科	衛生士の役割4 (岩井)	咬翼	法·咬台	法の持	最影の要素	点(実習2一①)		
履修内容	8	4章 ロ内法エックス	線撮影の実際と歯科	衛生士の役割5 (岩井)	口内	法エック	7ス線3	写真のみか	いた(実習2一②)		
	9	4章 ロ内法エックス	線撮影の実際と歯科	衛生士の役割6 (岩井)	写真	処理と	画像保	管の実際	(実習2-③)		
	10	5章 パノラマエックス	線撮影の実際と歯	科衛生士の役割1 (岩井)	パノ	ラマエッ	クス線	撮影の準	備(実習3一①)		
	11	5章 パノラマエックス	線撮影の実際と歯	科衛生士の役割2 (岩井)	パノ	ラマエッ	クス線	写真のみ	かた(実習3一②)		
	12	5章 パノラマエックス	線撮影の実際と歯	科衛生士の役割3 (岩井)	写真	処理と	画像保	管の実際	(実習3-③)		
	13	6章 写真処理と画像	保管の実際 (松本	()	現像	と定着、	手現何	象と自動現	見像、デジタル撮影な	: č	
	14	7章 放射線治療と口	腔管理 (松本)		CT、MRI、超音波、頭頸部癌の治療と口腔衛生						
	15	総括 (藤澤)			まとめ						

					• •		
授業科目	歯科放射線学	担当教員		藤澤	雅子		
(科目ID)	22d207	(実務経験)	有		無		歯科衛生士として、放射線撮影業務に従事しており、当 該科目の教育を行う。
対象年次·学期	2年-前期	担当教員		松本	崇嗣	司	
授業形態	講義	(実務経験)	有		無		歯科衛生士として、放射線撮影業務に従事しており、当 該科目の教育を行う。
		担当教員		岩井	七淮	#	
		(実務経験)	有	ď	無		歯科医師として、放射線撮影業務に従事しており、当該 科目の教育を行う。別紙1参照
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員		_			
		(実務経験)	有		無		

授業科目	歯科予防処置法Ⅱ			担当教員	松本 崇嗣					
(科目ID)	21d208			(実務経験)	有 🗹	無 [衛生士として、うり り当該科目の教育	触や歯周病の予防業務を実施し 育を行う。
対象年次・学期	年次·学期 2年·通年			必修·選択区分	必修				単位数	3単位
授業形態	業形態 講義·演習			授業回数(1回90分)			45		時間数	90時間
授業目的	シック	ルスケーラー、キュレッ	トスケーラー操作の	技能の習得。歯面研磨、PMTCの技能の習得。超音波スケーラー、エアスケーラー操作の技能の習得				一ラ一操作の技能の習得。		
到達目標	齲蝕予	齲蝕予防に関する口腔保健管理ができる。歯周病予防に関する口腔保健管理ができる。歯周疾患の初期治療ができる。								
テキスト・ 参考図書等	・最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)・使用器材:スケーラーセット、顎模型、口腔ケアセット									
	評価方法		評価割合(%)	評価基準						
	試験		80%	-						
評価方法・	レポート		10%							
評価基準	小テスト		%	①定期試験80% (②レポート10% (③)実習頻度 - 技能点10%						
	提出物		%							
	その他		10%							
履修上の 留意事項	相互実	『習を実施する。 ④体	調管理に気を付ける	・ ケーラー操作の技能が目標基準に達していない人は補習をする。 ③スタンダードプレコーションに従って る(欠席、遅刻、早退は厳禁)。 ⑤実習生としてのマナー、清潔な白衣、エブロン、実習靴、マスク、グロー 【、ピアスは外す。 挨拶、返事、言葉遣い。						
	回数 履修主題		履修内容							
	1 Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方1			Ⅲ編 1章—❶歯科衛生過程の進め方 ❷歯科衛生過程の各構成要素						
	2 Ⅲ編 2章歯科衛生アセスメントとしての↑			設取集と情報処理1 2章─●患者からのの情報収集 ②全身の健康状態の把握(相互実習1)						
	3 Ⅲ編 2章歯科衛生アセスメントとしての情			情報取集と情報処理2	3章-●分析のためのデータ(口腔衛生状態の指数:相互実習1)					
	4 Ⅲ編 2章歯科衛生アセスメントとしての竹			情報取集と情報処理3	3章-●分析のためのデータ(口腔衛生状態の指数:相互実習2)					
	5 Ⅲ編 2章歯科衛生アセスメントとしての↑			情報取集と情報処理4	3章-●分析のためのデータ(歯周疾患の指数:相互実習1)					
	6	Ⅲ編 2章歯科衛生ア	'セスメントとしての情	情報取集と情報処理5	3章一❸分析	のための	カデー	-タ(歯	間疾患の指数	(:相互実習2)
履修主題•	7	Ⅲ編 2章歯科衛生ア	'セスメントとしての情	青報取集と情報処理6	3章一❸分析	のための	カデー	-タ	2.口腔内写真持	最影(相互実習1)
履修内容	8	Ⅲ編 2章歯科衛生ア	'セスメントとしての情	情報取集と情報処理7	3章一❸分析	のための	カデー	-タ	2.口腔内写真持	最影(相互実習2)
	9	Ⅲ編 2章歯科衛生ア		* + 2 Po 体 1. 4 * + 2 加 TB o			~ ~	. <i>h</i>	2.エックス線写	直(使例绘計1)
		血柵 2字图17用工/	セスメントとしての情	育報収集と情報処理8	3章一❸分析	のための	ルナー			吴(延例换的1)
	10	Ⅲ編 2章歯科衛生ア			_					真(症例検討2)
	10	Ⅲ編 2章歯科衛生ア	'セスメントとしての情		_	のための	カデー	-タ	2.エックス線写	
	11	Ⅲ編 2章歯科衛生ア	セスメントとしての作	情報取集と情報処理9 情報取集と情報処理10	3章一 ③ 分析 3章 3.歯周症	のための	のデー	-タ <u>*</u> (演習	2.エックス線写	
	11	Ⅲ編 2章歯科衛生ア Ⅲ編 2章歯科衛生ア Ⅲ編 2章歯科衛生ア	セスメントとしての作 セスメントとしての作	情報取集と情報処理9 情報取集と情報処理10	3章一 ③ 分析 3章 3.歯周症 3章 4.う蝕に	のための	のデー る検査 寅査	-タ 査(演習 う触記	2.エックス線写	真(症例検討2) 振検査と唾液検査)
	11 12 13	Ⅲ編 2章歯科衛生ア Ⅲ編 2章歯科衛生ア Ⅲ編 2章歯科衛生ア	セスメントとしての作 セスメントとしての作 セスメントとしての作	情報取集と情報処理9 情報取集と情報処理10 情報取集と情報処理11 情報取集と情報処理12	3章 -③ 分析 3章 3.歯周が 3章 4.う蝕に 3章 5.う蝕に	のための しゅう	のデーる検査	-タ 査(演習 う蝕記 う蝕記	2.エックス線写習) 5動性試験(歯	真(症例検討2) 垢検査と唾液検査) 習)

回数	履修主題	履修内容
16	皿編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置3(佐竹)	インプラントのためのコンサルテーション
17	皿編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置4(佐竹)	インプラント手術での歯科衛生士の役割
18	皿編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置5(佐竹)	インプラント治療の概要~歯科医師の立場から
19	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置6(松本)	インブラント患者のメインテナンス(相互実習)
20	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ① SRP実習1	3章- ① -歯周検査+SRP実習(マネキン実習)
21	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●検査実習1	3章—❶-①下顎前歯部:PCR検査+SRP実習(相互実習:練習)
22	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●検査実習2	3章-❶-②下颚前歯部:PCR検查+SRP実習(相互実習:評価)
23	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●検査実習3	3章-❶-③下顎前歯部:歯周検査+SRP実習(相互実習:練習)
24	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●検査実習4	3章-❶-④下颚前歯部:歯周検査+SRP実習(相互実習:評価)
25	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●検査実習5	3章-歯科衛生評価;症例検討2
26	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習1	3章一❶一⑤上颚前歯部:SRP+PTC実習(相互実習:練習)
27	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習2	3章一❶一⑥上顎前歯部:SRP+PTC実習(相互実習:評価)
28	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習3	3章一❶一⑦下顎右側臼歯部:SRP+PMTC実習(相互実習:練習)
29	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習4	3章-❶-®下顎右側臼歯部:SRP+PMTC実習(相互実習:評価)
30	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習5	3章-歯科衛生評価:症例検討3
31	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習6	3章-❶-⑨下顎左側臼歯部:超音波スケーラー+SRP実習(相互実習:練習
32	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ① SRP実習7	3章-❶-⑩下顎左側臼歯部:超音波スケーラー+SRP実習(相互実習:評価
33	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習8	3章- ● 一①上顎右側臼歯部:エアスケーラー+SRP実習(相互実習:練習)
34	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習9	3章-❶-②下顎右側臼歯部:エアスケーラ-+SRP実習(相互実習:評価)
35	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習10	3章- ❶ PCR検査+歯面清掃実習(相互実習:練習)
36	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習11	3章—❶—PCR検査+歯面清掃実習(相互実習:評価)
37	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置 ●SRP実習12	3章一歯科衛生評価:症例検討4
38	Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方1 (校内実習1:準備)	Ⅲ編 1章-❷歯科衛生過程の各構成要素 評価
39	Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方1 (校内実習2:準備)	皿編 1章-❷歯科衛生過程の各構成要素 評価
40	Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方3 (校内実習1)	症例検討演習1(模擬患者検討実習1)
41	Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方3 (校内実習2)	症例検討演習1(模擬患者検討実習2)
42	Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方3 (校内実習3)	症例検討演習1(模擬患者検討実習3)
43	Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方3 (校内実習4)	症例検討演習1(模擬患者検討実習4)
44	Ⅲ編 1章歯科衛生過程の進め方3 (校内実習:記録)	症例検討演習5(模擬患者検討実習5)
45	Ⅲ編 3章 歯科衛生介入のための歯科予防処置(木村)	レーザー治療の概要・実際(症例)

履修主題· 履修内容

2023千戌	口口于图区东	因符号门子仪	图件用工-	F-174	万] 市民 [
授業科目	歯科予防処置法 Ⅱ	担当教員	佐竹	竹 朋香	
(科目ID)	21d208	(実務経験)	有 🗹	#	歯科衛生士として、う蝕や歯周病の予防業務を実施 しており当該科目の教育を行う。
対象年次·学期	2年•通年	担当教員	木木	寸 翔馬	
授業形態	講義・演習	(実務経験)	有 🗹	無□	歯科医師として、う蝕や歯周病のレーザー治療業務 を実施しており当該科目の教育を行う。
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有口	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	#	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	#	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	#	
		担当教員			
		(実務経験)	有口	#	